

宿泊・旅行業・運輸・自治体(観光全般)

週刊



日本専門新聞協会加盟 紙
国士交通省交通運輸記者会所属
発行所
東京都台東区池之端2-7-17
井門池之端ビル 千110-0008
株式会社 観光経済新聞社
電話 03(3827)9800(代)
FAX 03(3827)9730

開 西 支 社
大阪市北区天満2-1-20
天満松茂ビル 千530-0043
電話 06(6354)6166・6290
FAX 06(6354)6292

北 海 道 支 局
札幌市東区北22条東3丁目
ハイテクビル202 千065-0022
電話 011(207)3777
FAX 060(3488)4375

東 北 支 局
仙台市青葉区本町1-12-7
本町プラザビル8F 千980-0014
電話 022(225)8390
FAX 022(225)0850

九 州 支 局
福岡市博多区博多駅前4-4-21
グリーンビル3F 千812-0011
電話 092(477)5711
FAX 092(471)0778

購読料年間一部8,400円
(うち消費税 400円)
郵送料 2,600円

振替口座 00140-2-86888番
Email info@kankokeizai.com

群馬県

サービス産業生産性向上事業開始

まず旅館2軒を選定

群馬県は、サービス向上を目指す事業者にコンサルタントを派遣、改善点を助言、指導する新しい事業「サービス産業生産性向上事業」を開始する。第一弾は旅館・ホテル業で、9月からスタートした。県は「宿泊施設とコンサル会社の取り組みは来春に開くセミナーで公開し、経営の参考にしよう」と(商政課)としている。

飯島綜研が指導、助言

同事業の対象はサービス業全般だが、来年7、9月のデスティネーションキャンペーン(DC)を見据え、観光客の受け入れ施設となる旅館・ホテル業をまず選んだ。事業費は200万円。県が選定したコンサルティンク会社がサービスの質の向上や経営効率化につながる指導や助言を行うことで、集客力アップを図るのが狙い。

軒から応募があり、ヒアリングなどを経て、四月、コンサルティンクにつづいては6事業者が応募。温泉の柏屋旅館(柏原益男社長、15室)と草津温泉の群龍館(高橋正邦社長、7室)の2軒を選んだ。果、埼玉県熊谷市の飯島

綜研が選ばれた。

同綜研は来年1月までコンサルティンクを実施する。2、3月に実施内容をとりまとめ、県が開催するセミナーで取り組みを報告する。県は「今回の事業が宿泊業活性化のためのモデルケースになれば」と期待する。

事業費は200万円と少額なため、客室や浴室などの改修は旅館側の負担となる。このため、2旅館ともソフト面での取り組みを重視。柏屋旅館はチェックアウトが午後12時、インが同日2時で、滞在時間の長さをセールスポイントの1つにしている。柏原社長は、「アウトからインまで時間がわずかしかな

県はコンサルティンクを希望する施設(客室数50室以下)を、県のホームページなどで6月から約1カ月半募集した。4

ホテルの資金計画をしっかりとサポート

申込書とクーポン券を事前にFAX
クーポン到着当日に資金化されます。

株式会社 オートリ
全旅連協定商社

TEL 03-5210-2530
URL http://www.ohtrr-gp.co.jp/

【日本ホテルファンドと
Mr.クーポン事業を承継】

本社テーマ

- 一、観光立国実現は地方
- 一、旅行業と旅館・ホテルの
- 一、宿泊料金の価格アップ
- 一、高齢化・情報化・環境

く、お客さまの前で清掃業務をする場合もある。これを逆手にとって、清掃をエンターテイメント

化し、楽しんでいただくようにしたらどうかと考えている。コンサル会社と話し合い、うまい方法を見つけた」と話している。

群龍館の高橋社長は、「群馬の食材を使った新しい献立を考えたい。コンサルタンのアドバイスを生かしたい」と語った。

【内井高弘】